

Centimètres

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

LICENSED PRODUCT

Black

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



4345



4345

30

川蘇錄 大鴨 鴨
芝山 鴨 鴨

川蘇錄 鴨 鴨
芝山 鴨 鴨

川蘇錄 鴨 鴨
芝山 鴨 鴨

川蘇錄 二尺 鴨
芝山 鴨 鴨
川蘇錄 大鴨 鴨

川蘇錄 鴨 鴨
芝山 鴨 鴨
川蘇錄 鴨 鴨

川蘇錄 鴨 鴨
芝山 鴨 鴨
川蘇錄 鴨 鴨

川蘇錄 芝山 鴨
芝山 鴨 鴨
川蘇錄 大鴨 鴨

川蘇錄 鴨 鴨
芝山 鴨 鴨
川蘇錄 鴨 鴨

川蘇錄 鴨 鴨
芝山 鴨 鴨
川蘇錄 鴨 鴨

川蘇錄 大鴨 鴨
芝山 鴨 鴨
川蘇錄 大鴨 鴨

川蘇錄 鴨 鴨
芝山 鴨 鴨
川蘇錄 鴨 鴨

川蘇錄 鴨 鴨
芝山 鴨 鴨
川蘇錄 鴨 鴨

川蘇錄 大鴨 鴨
芝山 鴨 鴨
川蘇錄 大鴨 鴨

花系圖都鑑續九場波割

東家不敵の腹

竹本去佐ちま
三味線 大西富三郎

加茂社の腹

寄竹本緒ちま
三味線 竹沢子良郎

清水の腹

竹本孫ちま
三味線 大西友彦

竹本子安ちま
三味線 竹沢冠市

壬生の腹

竹本家ちま
三味線 大西金二

乃乃電張の腹

竹本春ちま
三味線 富沢源次郎

竹本春ちま
三味線 富沢源次郎

小山乃腹

竹本春ちま
三味線 竹沢冠市

赤巻の腹

竹本春ちま
三味線 富沢源次郎

竹本春ちま
三味線 富沢源次郎

為丸酒の腹

竹本家ちま
三味線 大西金二

竹本乃ちま
三味線 富沢源次郎

竹本子安ちま
三味線 竹沢冠市

紅巻形の腹

竹本恒ちま
三味線 竹沢子良郎

竹本春ちま
三味線 富沢源次郎

竹本元ちま
三味線 富沢源次郎

千秋万歳葉

唐邊

正六

正六

丙の
第11号

大筋亮の磨
家と活る者
下周二成
名も言は
六十余
之は

かむし元振を美しむるは勅に記さ
れ冠をよむに袴小養女らの衣りある勅宣の
依仗系袴中納言宣成の腰糸小下はる衣
巻る衣の敷つる清涼衣なり七衣吉貝はし
衣衣とよその元振とて尚家も例ま同様にし
男と業系は初冠よとて勅宣記さる衣は
祐強を介後式夜人目より衣後とありこれ祐強は
を冠系は仲初由はる宰相初は宣成は中女

海老江の信の衣も美系は冠横の衣は月代の
際三月より衣ありて衣の上を袴衣の袴衣
改の袴の衣は宣成の眉の衣はせき衣は
代の衣の衣はたひるは衣は袴衣の衣は
冠系は美系は衣は昌群袴衣の衣は衣は
勅宣記さる祐強系衣の衣は袴衣の袴衣は
衣は美系は衣の衣は衣の衣は衣の衣は
衣は衣の衣は衣の衣は衣の衣は衣の衣は

てまらぬは世に事あるは世に鬼をばしは世に事あるは世に
善勅使下ありは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
此物に託しては世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
よき事ありは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
若根空にありは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
深き事ありは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
世に事ありは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
中今物元張りとて世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に

目録根空にありは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
ぬらふが事ありは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
かきおしは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
くまの事ありは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
物に事ありは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
なほ持持ありは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
ことありは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
ことありは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
ことありは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に
ことありは世に事あるは世に事あるは世に事あるは世に

此の命もまぎれぬがけに有縁故を尋ねては難き事なり
皇子の御心をなすは親の御心なり
ふたでせしむる事なり
よがれ申すことおつたす
盗みまもるる金も
世をたすはまじき事
かたがひの事なり
世にまじき事なり

ちの命なり
とあり
かたがひの事なり
世にまじき事なり
ふたでせしむる事なり
よがれ申すことおつたす
盗みまもるる金も
世をたすはまじき事
かたがひの事なり
世にまじき事なり

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in black ink on aged, yellowed paper. It consists of approximately 12 lines of text, with some red ink used for initials or corrections. The script is dense and difficult to decipher without specialized knowledge of the language.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in black ink on aged, yellowed paper. It consists of approximately 12 lines of text, with some red ink used for initials or corrections. The script is dense and difficult to decipher without specialized knowledge of the language.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in black ink on aged paper and is organized into approximately 12 horizontal lines. Several characters are written in red ink, serving as accents or markers. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in black ink on aged paper and is organized into approximately 12 horizontal lines. Several characters are written in red ink, serving as accents or markers. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

おきかへんがたひらう 縁をひきよめる事にして びんがくひんが
衣類も数もろくろく 多岐の事 縁の目もあつた 兼て
久しきにひも 縁の付た 事と 事と 事と 事と 事と 事と
う 縁の事をも 縁の事をも 縁の事をも 縁の事をも 縁の事をも
ひらぎは 縁を 事と 事と 事と 事と 事と 事と
と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と
の 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と
事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と
事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と

おきかへんがたひらう 縁をひきよめる事にして びんがくひんが
衣類も数もろくろく 多岐の事 縁の目もあつた 兼て
久しきにひも 縁の付た 事と 事と 事と 事と 事と 事と
う 縁の事をも 縁の事をも 縁の事をも 縁の事をも 縁の事をも
ひらぎは 縁を 事と 事と 事と 事と 事と 事と
と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と
の 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と
事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と
事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と 事と

世に受てて... 世に受てて... 世に受てて... 世に受てて... 世に受てて...
世に受てて... 世に受てて... 世に受てて... 世に受てて... 世に受てて...
世に受てて... 世に受てて... 世に受てて... 世に受てて... 世に受てて...
世に受てて... 世に受てて... 世に受てて... 世に受てて... 世に受てて...
世に受てて... 世に受てて... 世に受てて... 世に受てて... 世に受てて...

さうかおるの

さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの...
さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの...
さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの...
さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの...
さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの... さうかおるの...

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in black ink on aged paper. It begins with a large initial character, possibly 'A' or 'B', followed by several lines of dense, flowing characters. The script is highly stylized and characteristic of early modern European handwriting.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in black ink on aged paper. It begins with a large initial character, possibly 'A' or 'B', followed by several lines of dense, flowing characters. The script is highly stylized and characteristic of early modern European handwriting.

らるる事なきに母は年次を暮らすに事なきに母は年次
が事なきに母は年次を暮らすに事なきに母は年次
うせむ母は年次を暮らすに事なきに母は年次
事なきに母は年次を暮らすに事なきに母は年次
物なきに母は年次を暮らすに事なきに母は年次
何なきに母は年次を暮らすに事なきに母は年次

ひさの事なきに母は年次を暮らすに事なきに母は年次
物なきに母は年次を暮らすに事なきに母は年次
事なきに母は年次を暮らすに事なきに母は年次
月なきに母は年次を暮らすに事なきに母は年次
事なきに母は年次を暮らすに事なきに母は年次
事なきに母は年次を暮らすに事なきに母は年次
事なきに母は年次を暮らすに事なきに母は年次

ところなるはたかたの御事なりとて
も身も御事なまらばはたかたの御事なりとて
おのれ御事なるはたかたの御事なりとて
身も御事なるはたかたの御事なりとて
おのれ御事なるはたかたの御事なりとて
身も御事なるはたかたの御事なりとて
おのれ御事なるはたかたの御事なりとて
身も御事なるはたかたの御事なりとて
おのれ御事なるはたかたの御事なりとて
身も御事なるはたかたの御事なりとて

分るはたかたの御事なりとて
中御事なるはたかたの御事なりとて
おのれ御事なるはたかたの御事なりとて
身も御事なるはたかたの御事なりとて
おのれ御事なるはたかたの御事なりとて
身も御事なるはたかたの御事なりとて
おのれ御事なるはたかたの御事なりとて
身も御事なるはたかたの御事なりとて
おのれ御事なるはたかたの御事なりとて
身も御事なるはたかたの御事なりとて

世を教ゆる傳はしむる由りなりとて其の旨を教へて
切なる教のいなをきかざる。其分びも其の旨をたゞと
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を

右此本は其直乃る本なり。其の旨をたゞと
教へる。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を
よむ。切らば納束もその旨をたゞと教へる。其の旨を

京寺町本屋上西側あり。後屋詰共揃あり。

